別紙様式２号

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業
Ⅰ　産地競争力の強化を目的とする取組用

（大分県　令和２年度）

市町村名	事業実施主体名	メニュー①（対象作物・畜種等名）①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況① 計画時（平成29年）	1年後（平成30年）	2年後（令和元年）	3年後（令和2年）	目標値（令和2年）	達成率	成果目標の具体的な実績①	メニュー②（対象作物・畜種等名）②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況② 計画時（平成29年）	1年後（平成30年）	2年後（令和元年）	3年後（令和2年）	目標値（令和2年）	達成率	成果目標の具体的な実績②	事業内容（工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費（円）	負担区分（円） 交付金	都道府県費	市町村費	その他	完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
国東市	上原農園株式会社	野菜（水耕ねぎ）	▼【野菜】▼（単収の増加）▼10aあたり収量を15,500kg/10a(20%増加）以上とする	10aあたり収量 12,916kg/10a 収量 154,998kg 面積 12,000㎡	10aあたり収量 11,494kg/10a 収量 137,934kg 面積 12,000㎡	10aあたり収量 12,606kg/10a 収量 213,209kg 面積 16,914㎡	10aあたり収量 18,128kg/10a 収量 306,617kg 面積 16,914㎡	10aあたり収量 15,500kg/10a 収量 262,167kg 面積 16,914㎡	201.7%	10aあたり収量は18,128kg/10aとなり、計画時より40.4%増加した。	野菜（水耕ねぎ）	▼【野菜】▼（加工向け・外食・中食向けの割合）▼加工向け・外食・中食向けの割合を47%以上(25ポイント増加）とする。	全出荷数量に占める加工向け又は中食・外食向けの割合 21.6% 全出荷量 154,998kg うち加工向け出荷量 33,522kg	全出荷数量に占める加工向け又は中食・外食向けの割合 21.6% 全出荷量 137,934kg うち加工向け出荷量 29,793kg	全出荷数量に占める加工向け又は中食・外食向けの割合 52.6% 全出荷量 213,209kg うち加工向け出荷量 112,248kg	全出荷数量に占める加工向け又は中食・外食向けの割合 47.3% 全出荷量 306,617kg うち加工向け出荷量 145,183kg	全出荷数量に占める加工向け又は中食・外食向けの割合 47.0% 全出荷量 262,167kg うち加工向け出荷量 123,219kg	101.2%	加工向け出荷の割合は47.3%となり、計画時より25.7ポイント増加した。	生産技術高度化施設 （低コスト耐候性ハウス） 1棟　4,914㎡ 養液栽培装置 自動カーテン装置 集出荷貯蔵施設 1棟 240㎡ ねぎ皮剥き設備 一式 ベルトコンベア 一式 結束設備　一式 包装設備　一式 予冷設備　一式	230,274,965	106,608,000	26,652,000	26,654,000	70,360,965	R1.3.29	作業性を向上させたことで、栽培計画以上の収量結果となった。また、契約栽培とすることで加工向け出荷を順調に伸ばせた。いずれの目標も達成することができた。	計画的に栽培、販売を行えたことから目標達成された。	
宇佐市	(株)安心院オーガニックファーム	野菜（ベビーリーフ）	▼【野菜】▼（単収の増加）▼10aあたり収量を4,565kg/10a（20%増加）以上とする	10a当たり収量 3,781kg／10a 収量 52,947kg 面積 14,000㎡	10a当たり収量 4,314kg／10a 収量 60,400kg 面積 14,000㎡	10a当たり収量 3,902kg／10a 収量 68,300kg 面積 17,500㎡	10a当たり収量 5,001kg／10a 収量 87,522kg 面積 17,500㎡	10a当たり収量 4,565kg／10a 収量 148,000kg 面積 32,420㎡	155.6	10aあたり収量は5,001kg/10aとなり、計画時より32.3%増加した。	野菜（ベビーリーフ）	▼【野菜】▼（単位収量あたりの販売額）▼1kg当たりの販売額を1,035円/kg以上（15%増加）とする	単位収量当たり販売額 900円／kg 販売額 47,652,660円 収量 52,947kg	単位収量当たり販売額 925円／kg 販売額 55,870,000円 収量 60,400kg	単位収量当たり販売額 908円／kg 販売額 62,016,400円 収量 68,300kg	単位収量当たり販売額 1,020円／kg 販売額 89,272,440円 収量 87,522kg	単位収量当たり販売額 1,035円／kg 販売額 153,180,000円 収量 148,000kg	88.9%	1kgあたりの販売額は89,272,440円となり、計画時より13.3%増加した。	生産技術高度化施設 （低コスト耐候性ハウス） 42棟　18,420㎡ 有機物処理・利用施設 （堆肥等生産施設） 250㎡	154,985,400	71,752,000	17,938,000	17,939,000	47,356,400	R1.3.29	単収については目標を達成できた。 1kgあたりの販売額については、新型コロナの拡大による外食・中食等の業務用需要が減少し、達成できなかった。今後は、一般消費向けの新たな商品開発等を行い目標達成を目指す。	栽培面積については、排水不良により使用できない農地があるため集水枡を設置し排水を改善する。販売については、新型コロナウイルスによる巣ごもり需要に対応できる商品開発と販路開拓を行う。	固定単価による取引のため、価格補正はしない。
臼杵市	大分県農業協同組合	野菜（いちご）	▼【野菜】▼（単収の増加）▼10aあたり収量を6,309kg/10a以上(20%増加）とする	10a当たり収量 5,257.5kg／10a 収量 9,779kg 面積 1,860㎡		10a当たり収量 3,562.9kg/10a 収量 30,392kg 面積 8,530㎡	10a当たり収量 3,590.3kg/10a 収量 30,625kg 面積 8,530㎡	10a当たり収量 6,309.0kg／10a 収量 54,283kg 面積 8,604㎡	-158.60%	10aあたりの収量は3,590.3kg/10aとなり、計画時より31.7%減少となった。	野菜（いちご）	▼【野菜】▼（契約取引の割合）▼契約取引の割合を70.48%以上（33ポイント増加）とする。	契約取引割合 37.48% 全出荷量 9,779kg 契約取引量 3,665.17kg		契約取引割合 81.87% 全出荷量 30,392kg 契約取引量 24,882kg	契約取引割合 62.71% 全出荷量 30,625kg 契約取引量 19,206ｋｇ	契約取引割合 70.48% 全出荷量 54,283kg 契約取引量 38,259kg	76.50%	契約取引割合は62.71%となり、計画時より25.23ポイント増加した。	生産技術高度化施設 （低コスト耐候性ハウス） 3棟　6,744㎡	171,363,600	79,335,000	19,833,000	19,835,000	52,360,600	R1.9.25	新品種ベリーツへ転換したが、まだ栽培技術が定着しておらず、単収については目標達成はできなかった。 また、新型コロナの影響によりギフト向け需要が激減し、契約数量時に比べ増加したが目標達成はできなかった。 今後は、講習会の開催や関係機関による圃地巡回の回数を増やす等に取組りくみながら、単収向上を図っていく。	新品種の栽培技術向上が必要である。関係機関で連携して、単収向上に向けた技術指導を行っていく。	

都道府県平均達成率	77.60%	総合所見	本県において、本年度の事業評価の対象となったのは３地区であり、２つの成果目標を達成した地区は１地区、１つだけ達成した地区は１地区、両方とも未達成であった地区は１地区であった。 成果目標が未達成となった地区の主な要因は次のとおり。 ①10aあたり収量は増えたが、新型コロナウイルス感染症の影響で業務用の需要が減り、販売単価の向上を図ることができなかった。 ②いちごの県オリジナル品種「ベリーツ」の作付けに取り組んだが、栽培技術が定着しておらず単収の増加を図ることができなかった。また新型コロナウイルス感染症の影響でギフト向け需要が減少し、契約取引の拡大に至らなかった。 なお、成果目標が未達成の事業実施主体については、今後、改善計画の策定及びその実践を指導するなど、地元市町村と連携して目標達成に向けた取組を推進する。

（注）１　別紙様式１号の２のＩに準じて作成すること。

２　要綱第３の４の（２）のアのただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。

３　別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。

４「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。

５「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。

６「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。